

ふく い まさ のり
福井昌則さん

修士課程
生活・健康・情報系教育コース2年
昭和51(1976)年、大阪府茨木市生まれ。平成14(2002)年に姫路工業大学(現兵庫県立大学)理学部を卒業後、神戸大学大学院自然科学研究科を中退。社会人経験を経て、現在は兵教大大学院で学ぶ傍ら、関西学院高等部や大阪電気通信大学総合情報学部の非常勤講師などを務めている。「子どもチャレンジ!プログラミング」が29年度の「課外活動プロジェクト」に採択された。



関西学院高等部でプログラミングを指導する様子

キラリな人



子どもたちの
創造性を伸ばす
“最高の教育”を
目指しています

生活・健康・情報系教育コース2年の福井昌則さん

り返る。

一方で教育の基礎を学ぶ必要があると痛感した福井さんは、兵教大で情報教育を専門に学び、「プログラミングで子どもの創造性をいかにして伸ばすか」という研究課題に正面から取り組んだ。そして、非常勤講師を務める高校で自身の仮説に基づく授業を実践したところ、実施前に比べて生徒の創造的態度の指数がぐんと上がり、手応えをつかんだという。

「もともと学者志望だったので、自分が大学院でもできなかったようなことを高校生がやっているなんて!と感銘を受けました」

程なく、その生徒たちが所属する関西学院高等部数理科学部活動にコーチとして参加し、プログラミングやアプリ開発の技術を教えるようになる。生徒らの若者らしい柔軟な発想に、福井さんの指導により専門的な技術力が加わった結果、コンテストで総務大臣から直接表彰を受けるなど、成果はすぐに現れた。「これはうまくいけば最高の教育になるんじゃないか」と思いました」と振り返る。

春には、研究成果を技術面からさらに前進させるべく、工学系の別の大学院博士課程に進む予定だ。自分以外の教員も共有できるシステムの構築へ、挑戦はこれからが正念場だ。